



## 『広報葉山』12月号が神奈川県広報コンクール最優秀賞を受賞

— 若者の「声なき声」をすくい上げた特集が高評価、全国コンクールへ推薦 —



葉山町が毎月発行する『広報葉山』の12月号(令和7年12月1日発行)が、このたび「神奈川県広報コンクール」において最優秀賞を受賞しました。平成26年の初受賞から通算9回目となる快挙で、同号は今後、公共団体法人日本広報協会主催の「全国広報コンクール」へ推薦されます。

今回高く評価されたのは、特集「選べる未来をすべての若者に」。

18歳を境に支援制度の狭間に置かれてしまう、いわゆる「18歳の壁」という見えにくい課題に焦点を当て、若者のリアルな声や支援現場の実情を丁寧に取材しました。「困っていても声を上げられない若者がいる」という現実を、町民一人ひとりが自分ごととして捉え、小さな行動から関わりを始められるよう促す内容となっています。また、人権擁護委員への取材を通じ、「人として大切にされること」は特別な概念ではなく、日々のあいさつなど身近な行動の積み重ねから育まれるものであることを紹介。制度説明にとどまらず、地域に潜む「気づきにくい課題」を可視化し、町民同士のまなざしを見つめ直す紙面づくりを目指しました。

審査講評では、

- ・支援の狭間にある若者への多角的なアプローチ
- ・行動を促す構成と優しいトーンの見出し
- ・読みやすく温かみのあるレイアウト

などが高く評価され、「相談したい・応援したいと思わせる紙面」として評価を受けました。

葉山町では、今回の受賞を励みに、町民が互いを尊重し合い、誰もが自分らしく暮らせる地域づくりに向け、今後も広報紙を通じた情報発信を強化してまいります。

問合せ 政策課 宮崎 (TEL内線 333)